

学習の目標		使用する主な教材					
1 物理基礎との関連を考慮しながら物理の基本的な概念の形成を図り、科学的な思考力、判断力、表現力を身に付ける。		・教科書『改訂版 物理』 数研出版					
2 実験、観察を通してデータを科学的に分析する方法やレポートの作成方法など自然を科学的に探究する能力を身に付ける。		・『セミナー物理基礎+物理』 第一学習社					
		・『物理基礎・物理実験ノート』 高教研理科部会物理部門					
		・プリント (補充問題)					
期	月	学 習 内 容	学 習 の 具 体 的 内 容 と ね ら い	主な評価の観点			
				①	②	③	④
一 学 期	4	第4編 電気と磁気 第1章 電場	・静電気力や電場の定義など、演示実験や問題演習を通して正しく理解する。	◎	○		○
	5	第2章 電流	・電流の定義やオームの法則などについて、電流の担い手である電子の動きを考えながら学ぶ。	◎	○	○	
	6	第3章 電流と磁場	・電流の作る磁場や電流が磁場から受ける影響について、具体的な事例を通して学ぶ。	◎	○		○
	7	第4章 電磁誘導と電磁波	・電磁誘導の法則やそれに伴って生じる様々な現象について、演示実験や問題演習を通して学ぶ。	◎		○	
	7	第5編 原子 第1章 電子と光	・電子の運動とそれによって影響を受ける物体の現象について、具体的な事例を通して学ぶ。	◎			○
二 学 期	8	第2章 原子と原子核	・原子や原子核内の構造や素粒子の種類や性質について、歴史的背景を踏まえて学ぶ。	◎			○
	9	大学入試に向けての演習	・大学入試に向けて、実践的な演習を行う。「力学」、「熱」、「波動」、「電磁気」、「原子」について、基本的な事項を復習しつつ、実験・考察等を行いながら、総合的に物理について深く理解する。	◎	○		
	10						
	11						
	12						
三 学 期	1		・共通テスト対策、二次試験対策のための演習を行う。	◎	○		
	2						
	3						
評 価 の 方 法	①「関心・意欲・態度」：科学について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。						
	②「思考・判断・表現」：科学的な現象について考察し、導き出した考えを表現している。						
備 考	③「観察・実験の技能」：観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。						
	④「知識・理解」：科学的な現象について理解し、知識を身に付けている。 以上4つの観点を考慮しながら、成績は定期考査の得点に平常点（学習態度、課題、小テスト、ノート等）を加味して100点満点で算出する。学年末の成績は、各学期の成績をもとに算出する。						